

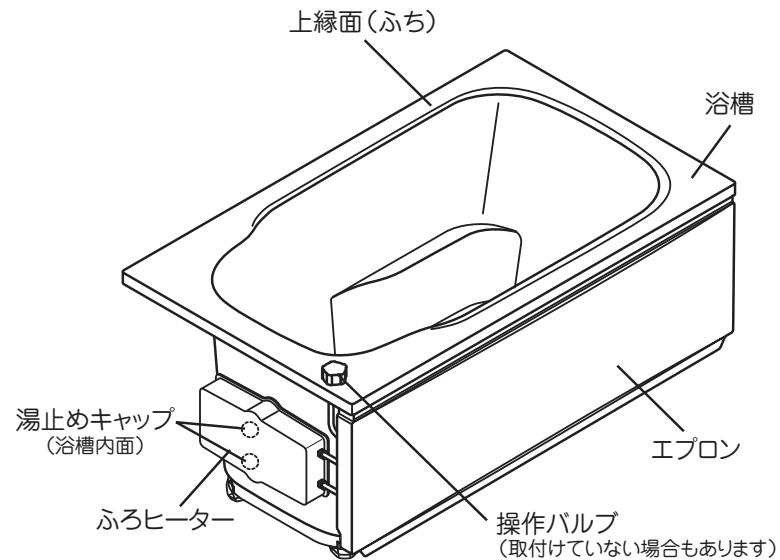
ふろヒーター：(4)138-K800型
バルブ：(4)138-K801型

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
この説明書の裏表紙と11ページが保証書になっています。
保証書に記載されている保証期間、保証内容などをよくご確認のうえ、
大切に保管してください。
なお、ご不明な点があればお買い上げの販売店またはもよりの大坂ガスへ
お問い合わせください。

もくじ

各部の名称	2
使用上のご注意	3
ご使用方法	7
お手入れのしかた	8
故障かなと思ったとき	9
アフターサービスについて ..	10
保証書	11

各部の名称



使用上のご注意

使用上のご注意（必ずお守りください）

この使用上のご注意をよくお読みの上、正しくお使いください。

●ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結び付くものです。

安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

●表示マークについて

表示内容を無視して誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示マークで区分し、説明しています。



この表示の欄は「死亡または重傷等を負うことが想定される」内容です。



この表示の欄は「傷害を負うことや物的損害のみが発生することが想定される」内容です。

お守りいただく事項の種類をつぎの絵表示で区分し、説明しています。

絵表示	意味
	気を付けていただきたい「注意喚起」の内容です。
	行ってはいけない「禁止」の内容です。
	必ず実行していただく「強制」の内容です。

使用上のご注意

警告



排水栓をきちんと閉じてください。
水が漏れていますと空焚きとなり、火傷を負うおそれがあります。



浴槽内に電気製品を持込まないでください。
感電するおそれがあります。



小さいお子さまや身体の不自由な方だけ入浴させないでください。
浴槽でおぼれたり、ケガや火傷を負うおそれがあります。



入浴中に、浴槽の水を排水しないでください。
排水口に手足や髪の毛などが吸い込まれ、おぼれたり、ケガを負うおそれがあります。



浴槽の上縁面（ふち）には、絶対に乗らないでください。
浴槽が傾いてころんだり、足をすべらせてケガを負うおそれがあります。



ふろフタの上に体重をかけたり、乗ったりしないでください。
フタが破損し、ケガや火傷を負うおそれがあります。



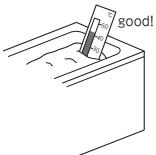
浴槽内であはれたり、もぐったりしないでください。
おぼれたり、ケガを負うおそれがあります。

使用上のご注意

⚠ 注意



入浴前に、必ず湯温を確認してください。
火傷を負うおそれがあります。



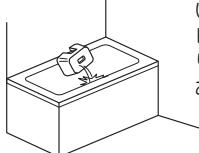
ふろフタは、必ず浴槽にあったものをお使いください。
フタが外れたりして、ケガや火傷を負うおそれがあります。



排水栓のクサリ止め金具がある面側に背中をもたれないでください。
ケガを負うおそれがあります。



浴槽やエプロンに無理な力をかけたり、重いもの、硬いものを落とさないでください。
ヒビが入って水が漏れたり、ケガを負うおそれがあります。



浴槽の掃除に使用する洗剤は、石鹼水や浴室用中性洗剤とし、必ず洗剤容器に表示されている注意書きにしたがい、正しくお使いください。
使い方を誤ると人体に影響を与えたり、水漏れや故障を生じるおそれがあります。



浴槽を貯水など、他の用途に使用しないでください。
小さなお子さまがおぼれるおそれがあります。



浴槽をすらしたり、持ち上げたりしないでください。
浴槽に接続している配管が外れたり、破損するおそれがあります。



ふろフタを取扱うときは、必ず両手でしっかり持ってください。
ぬれているとフタがすべり易く、落として思わぬケガをすることがあります。



浴槽とエプロンおよび壁の隙間に指を入れないよう、ご注意ください。
指が挟まれ、ケガを負うおそれがあります。



浴室には、石鹼などで大変すべりやすくなっていますので、気を付けてください。
ころんでケガを負うおそれがあります。



使用上のご注意

⚠ 注意



排水栓のクサリ止め金具を回さないでください。
止め金具がゆるむと、排水栓がどれたり、水漏れするおそれがあります。



浴槽に、70°C以上の熱湯を直接入れないでください。
変色したり、浴槽や排水栓などの寿命を縮める原因となります。



排水口にシンナーなどの溶剤や薬品を流さないでください。
浴槽や排水栓がいたんだり配管が腐食して水漏れが発生したり、環境汚染をおこすおそれがあります。



浴槽に石鹼水や洗剤液を長時間放置しますと、変色するおそれがあります。



ふろヒーターは、約80°Cの温水を利用して浴槽内の湯(水)を温めて追い焚きする装置です。
最初のお湯はりは、給湯機でお湯を落とし込んでください。



追い焚きする際は、上部循環口より10cm以上上までお湯(水)があることを確認してください。



追い焚きを終了するときは、操作バルブ等を最後まできちんと閉めてください。
操作バルブ等が開いていると浴槽の湯温が上昇し、火傷を負うおそれがあります。



イオウ系成分が入った入浴剤は使用しないでください。
浴槽表面や排水栓、ふろヒーターなどを傷め、水が漏れたり浴槽が劣化するおそれがあります。



またその他の入浴剤でも傷めるものがありますので入浴剤の使用説明書をよくお読みになり、正しく使用してください。



沸かしすぎたり、空焚きをしないでください。
変色したり、浴槽やふろヒーターの寿命を縮める原因となります。



ふろヒーター循環口内のコイルには、直接触れないでください。
循環口内のコイルには約80°Cの温水が流れているため、火傷を負うおそれがあります。



湯止めキャップを外したまま使用しないでください。
熱いお湯が出て、火傷を負うおそれがあります。



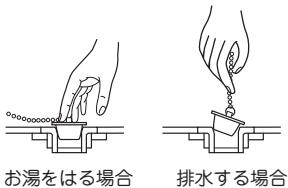
追い焚きされない時は、操作バルブは必ず「閉」にしてください。

ご 使用 方法

■ 排水栓の開閉

浴槽にお湯をはる場合は、排水栓をしっかりと排水口に対し水平に押し込みます。

排水する場合は、クサリ部を持って、排水栓をゆっくり引き上げます。



警告



排水栓を手できちんと排水口に押し込んでください。
水が漏れていますと空焚きとなり、火傷を負うおそれがあります。

■ お湯はり

排水栓を閉じ、お湯を入れます。



注意

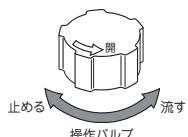


浴槽に、70°C以上の熱湯を直接入れないでください。
変色したり、浴槽や排水栓などの寿命を縮める原因となります。

■ 追い焚き

追い焚きをする際は、上部循環口より10cm以上上までお湯を張ってください。

- ・熱源機を動かし、ふろヒーターに80°Cの温水を供給できるようにしてください。
- ・操作バルブ(138-K801型)を取り付けの場合、浴槽の上縁面にある操作バルブを「開」の方向に回し、ふろヒーター内のコイルに温水を流します。
- ・浴槽内のお湯がお好みの温度まで上がりましたら、操作バルブを反対方向に回し、温水を止めてください。



警告



温水を止める際は、操作バルブを最後まできちんと閉めてください。湯温が上昇し、火傷を負うおそれがあります。



注意



- ・湯止めキャップを外さないでください。
熱いお湯が出てきて、火傷を負うおそれがあります。
- ・ふろヒーター循環口内のコイルには直接触れないでください。
循環口内のコイルには約80°Cの温水が流れているため、火傷を負うおそれがあります。



- ・操作バルブの急な開閉操作をしないでください。ウォーターハンマー現象が発生し、騒音や配管ゆるみの原因になります。
- ・追い焚きをされない時は、操作バルブは必ず「閉」にしてください。

お手入れのしかた

△ 注意



浴槽の掃除に使用する洗剤は、石鹼水や浴室用中性洗剤とし、必ず洗剤容器に表示されている注意書きにしたがい、正しくお使いください。

使い方を誤ると人体に影響を与えることがあります。水漏れや故障を生じるおそれがあります。



浴室内を掃除するときは、ゴム手袋などを使用してください。
手にケガを負うおそれがあります。

■ お手入れ方法

- ・清掃は、スポンジかやわらかい布に中性洗剤をつけてふいた後、水洗いしてください。また入浴後、浴槽がぬれているときに洗うと汚れが落ちやすいので、きれいにご使用いただけます。

汚れは時間がたつほど落ちにくくなります。

- ・水道管内の鉄分が水とともに流れ出し、浴槽にはん点状の赤錆が付着することがあります。赤錆は大変落ちにくいのですぐ清掃してください。
- ・浴槽表面に、水滴や洗剤を長時間放置しておきますと水あかが付いたり、浴槽が変色するおそれがあります。こまめな清掃をこころがけてください。
- ・浴槽表面に白色の汚れが付くことがあります。これは石鹼などの脂肪分と水道水に含まれるカルシウムなどが反応したものです。付着すると洗剤では落とせませんので、こまめに清掃してください。
- ・浴槽表面に青色の汚れが付くことがあります。これは石鹼などの脂肪分と水道配管に含まれる銅イオンなどが反応したものです。お使い始めから1年ほどで無くなりますが、水質や配管などの条件により期間は変わります。付着すると洗剤では落とせませんので、こまめに清掃してください。

● 排水口

- ・排水口のゴミを取り除いてください。
ゴミがたまると、臭気が発生したり、水漏れの原因となります。

● ふろヒーター

- ・ふろヒーター内のコイルが銅色から黒ずんできますが、これはコイルを保護する役目を持つ酸化被膜の形成によるもので、使用上問題ありません。
- ・湯止めキャップを外し、上下循環口からふろヒーター内にホースで勢いよく水を注いで湯垢を取り除いてください。
清掃が終りましたら、湯止めキャップを元通りはめ込んでください。

故障かなと思ったとき

- 「取扱説明書」にしたがって使用し、不明な点や異常があるときは、修理を依頼される前に次の項目をご確認ください。
なお、アフターサービスについては10ページをご覧ください。

現象	原因	処置
浴槽にお湯（水）がたまらない。減っていく。	排水栓がしっかりと排水口に入っていない。	排水栓をしっかりと排水口に押し込む。
	排水栓が外れている。	排水栓をしっかりと取付けてください。
ふろヒーターの操作バルブを開けているのに浴槽のお湯（水）が温まらない。	熱源機が動いていない。	熱源機を動かしてください。
	温水を循環させる配管が凍結している。	操作バルブや配管にお湯をかけてください。
ふろヒーターの操作バルブが回らない。	操作バルブが凍結している。	

※上記以外の現象およびこれらの処置で正常に動作しないときは、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへお問い合わせください。

アフターサービスについて

■ 保証書と保証期間について

- この商品には無料修理保証書がついています。
- 無料修理保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたします。
記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げの日から2年間です。
- 保障期間中でも有料になることがありますので、ご了承ください。
(保証書に詳細を記載してありますので、そちらをご覧ください。)
- 保証期間経過後の修理につきましては、販売店またはもよりの大阪ガスにご相談ください。
- 修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

■ 修理を依頼されるときは

- 正常に動作しないときは、9ページの「故障かなと思ったとき」をご覧ください。
それでも正常に動作しないときはすぐに使用を中止し、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスにご相談ください。
- アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。
 - ①ご住所、お名前、電話番号
 - ②型式名：(例) (4)138-K800
 - ③現象：できるだけ詳しくご説明ください
 - ④訪問ご希望日、道順（付近の目印も）

■ 部品の最低保有期間

- この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切後10年間です。
ただし、当製品製造打切後10年経過後であっても、補修用部品の在庫がある場合は有料修理いたします。